

# 江差の漁業

2019.11.7 漁村センター

No	項目	意見内容	対処方針
1	将来に向けての課題	イカ漁について、漁師でも様々な形で努力しながらやってきていたが、東シナ海の乱獲などの様々な影響により、資源の回復が望めない状況にある。 そのような状況下で、町でも燃油など何らかの助成をお願いしたい。 今の状況のままだと、漁師がいなくなってしまうのではないかと思う。	現状では、町として燃油等の補助や助成はしていない状況にある。 この意見については、町が漁業者にどのような支援策が必要なのかということを検討材料の一つとさせていただく。 観光客や帰省者の目的の一獲に、イカを食べたくてくるというのもあると思うが、そのイカが獲れなくなるというのは、漁業者だけでなく地域の魅力の低下につながるので大切な問題だと考えている。
2	将来に向けての課題	鷗島の方に今新しく防波堤を出している。内港の方に波が入ってきている状況がある。それを作るときにシミュレーションを行った経緯がある。最後のケーソンを曲げて作る計画だが、着手前に、新たなシミュレーションを行ってほしい。	現在、港湾事務所と協議しシミュレーションの要請もしており、協議中なのだが来年くらいには、シミュレーションを行いどのような対策が取れるのかという協議を行いたいと考えている。
3	町の取り組み	港に落ちた時に陸に上がることができない。命にかかわることなので早急にはしごなどを数か所設置してもらいたい。	はしごについては、以前から要望もあり、設置することを検討している。しかし、設置するはしごの種類、設置に係る予算、設置場所などいろいろな課題があり、設置できていない状況にある。 簡易なものでも良いので早い段階で設置できるように協議を進めていきたい。
4	将来に向けての課題	後継者問題で、若い世代が新規で漁業を始めることができる体制づくりを町でも支援してもらいたい。 新規に漁業に携わるとしたら、莫大な費用がかかる。	やりたいと思っても、費用面が障壁となりあきらめてしまう人もいると思うので大きな問題だと考えています。漁業者の方も、集まってどのような支援が必要か話し合っ、まとめた意見を町に提示してもらいたい。
5	将来に向けての課題	水揚げの中で、現在ナマコが大きな部分を占めている。 人工採苗を限られた施設で行っている。 採卵をするための施設の整備が必要となる。 計画的に、養殖施設整備の支援ができるなど情報があれば提供してもらいたい。	ナマコについては、今の江差の漁業の非常に大きな支えになっていると思う。それは、江差のナマコが評価され需要があるからだと考えている。 しかし、天然の資源だけに頼ると資源の枯渇を招くことから、養殖などによる資源管理をきちんとしなければならないと考える。 このことから漁業に対する何らかの支援も必要という意見だと思う。 漁業者の方も、集まってどのような支援が必要か話し合っ、まとめた意見を町に提示してもらいたい。

No	項目	意見内容	対処方針
6	将来に向けての課題	<p>今年は、アワビも不漁となっており、種苗も購入して放流しようか考えた が、種苗自体もあまりよくないようなので見送った状況にあるが、今回は、 特にこの近海ではあまり見られなかったマダコが大量発生してアワビも食 害にあっているようなので、対策が必要と考えている。</p> <p>また、食害にあっているとしたら今まで以上に種苗の放流数を増やすこと と、食害にあわない少し大きめの種苗の放流が必要と考えているが、そこ に対する支援も町で考えていただきたい。</p>	
7	町の取り組み	<p>上屋について、補強等を行っているが、老朽が進んでいるので対策の支 援を頂きたい。</p>	<p>国土交通省北海道局の方と意見交換をしたのだが、その際に国で財政 的な支援がないか話を行い、確認してもらっている。</p>
8		<p>以前に檜山振興局のアドバイスで昆布養殖をしたことがあるのだが、そ の際、区画漁業権の取得をしようとしたが取得できるところがあまりなく、 上ノ国町との境界付近であまり良い環境とは思えない場所が当たった。 昆布養殖は5年間行ったが失敗し、その後、ヒラメやアワビなどの養殖も 行ったがすべて失敗してしまった。 今の江差では、良い所の区画漁業権の取得はできないと思う。 外海の資源が減ってきているため、増養殖の取り組みが必要な状況に あると考える。</p>	
9	将来に向けての課題	<p>色々なものを試験してきたが、港内では限りがある。港外では施設強度 が不安で難しい。陸上養殖施設を考えるしかないのではないか。空き地で 温泉利用できる施設を作って、漁業に対する物がなにかできないか。</p>	<p>温泉の活用について、検討する。</p>
10	町の取り組み	<p>江差の海に適している養殖等を考えていくうえで、専門的な知識を持った 方を呼んで、意見を聞くのも良いのではないか。</p>	
11	町の取り組み	<p>漁業者の後継者が少なくなっている中で、地場産の物について、漁業者 の状況や漁業の水揚げなどの状況を町内の方にも理解してもらい、町内 販売の促進を考えてもらいたい。 そうしなければ、漁業者もいなくなり小売業者も共倒れになってしまうの ではないか。 地場産品の町内循環の仕組みづくりができないか。</p>	

No	項目	意見内容	対処方針
12	町の取り組み	紅ズワイガニの船が係留しているところに、一部舗装がない所があるのだが、そこにカニの液が垂れて土に浸透し、暖かくなると悪臭を発生させる。土の部分を、洗い流しやすいように舗装等をしてもらいたい要望しているが明確な回答がない。対策を考えてもらいたい。	1～2年間から、港湾事務所と協議している状況であるが、現状では、港湾事務所から具体的な対策の返答が来ていない。再度、港湾事務所を確認したうえで、別途回答する。
13	将来に向けての課題	水産加工場のテストプラント的なものの建設について、都市計画区域の関係で建設できない。一部都市計画区域の解除等を行い建設できないものだろうか。	都市計画区域であったとしても、工場等が建設できる方法がないか模索してみる。
14		江差の現状を見ると、天然の水産資源頼みでは、漁業で生活していくには、不安がある。港外での養殖は難しい、港内と考えると限りがある。施設の検討も必要だと思う。個人的にはウニなどの養殖等にも機会があれば挑戦したいとは考えている。	
15	町の取り組み	水産関係のパイプ役になれるような専門職の人材を町として採用できないか。	採用含めて検討させていただく。
16	町の取り組み	漁具と漁船保険の助成について、漁具の助成が現在は団体対象となっているが、個人でも活用できるよう戻してもらいたい。	検討材料とさせていただく。